

にし西

■編集

西区役所総務企画課広聴係 〒063-8612 西区琴似2条7丁目1-1
TEL 641-2400 内線224~227 FAX 641-2405

◎西区広報番組「西区情報プラザ」FMラジオ三角山放送局76.2MHz
毎週月曜日午前11時～

◎西区ホームページ <http://www.city.sapporo.jp/nishi/>

◎区民のページ 2006・10



まちの人



日本車いすダンススポーツ連盟
札幌支部長
車いすダンスの会「ハーモニー」代表

ちば きょうこ
千葉 京子さん(56)

○車いすダンスとは

約60年前にヨーロッパで始まったスポーツ。車いすに乗る人同士で踊るものや、車いすに乗る人と健常者とのペアで踊るものなどがある。老若男女問わずできる運動であり、近年、高齢者、障がい者へのリハビリテーション効果も注目されている。

日本車いすダンススポーツ連盟ホームページ
<http://www.jwdsf.com/>



札幌市生涯学習センター(ちえりあ)で踊りを披露する千葉さん(写真右)

「車いすダンスのすばらしさを伝えていくことが私の使命です」と話すのは、西野在住の千葉さん。車いすダンスの会「ハーモニー」の代表として、市内の養護学校や福祉施設などで車いすダンスを教えています。

もともとダンスが好きで、社交ダンスのプロの資格まで取った千葉さんですが、車いすダンスに強い思いを抱いたのは三十歳代後半のころ。このころ、高校時代から続けている福祉活動をする中で「障がいのある人にも、踊りの楽しさを伝えられないか」と悩んでいたといいます。ある時、

Shall we 車いすダンス?

「車いすでもダンスは踊れるの?」と言われた一言で、迷いが吹っ切れ、目指す方向が定まったといいます。

初めはどう踊るか試行錯誤しましたが、平成九年には、車いすダンスを本格的に学ぶため、迷わず東京へ行きました。平成十二年に「ハーモニー」を立ち上げましたが、メンバー集めに苦労したといいます。街角で声を掛けてもほとんど断られて、一時は挫折しそうになりました。それでも地道に、たくさんのお客様で踊るうちに、口コミの紹介などでメンバーが集まるようになりました。

初演は農試公園で、トラックの荷台が舞台。落ちないよう注意しながらワルツを踊りました。「みんなに風を切って踊る気持ち良さや、人前でおしゃれして踊る楽しさを伝えたかった」といいます。

その翌年には、D*PI世界会議札幌大会のプレ大会、今年には車いすダンスがメインの公演を「ちえりあ」で行うまでになりました。

「車いすダンスと出会えてとても幸せ」と話す千葉さん。これからも、車いすダンスの魅力を伝えます。

区民のページで取り上げてほしいテーマなど、皆さんのご希望やご意見をお寄せください。はがき、ファクス、Eメール nishi@city.sapporo.jp、西区総務企画課広聴係(上欄)へ。